

九州創生神楽プロフィール

九州創生神楽文化振興協議会は、伝承された長い歴史と奥義を、数少ない古神道・修験者の継承者であり日本エンターテイメント観光大使として世界中で活躍する表博耀氏から学び、日本独自の世界観を表現する神楽や芸術展などの事業を行い創生神楽・古神道を通して、平和・祈り・和合を日本ならびに世界に発信するため活動を共にしております。また、九州地域では神社などでの神楽奉納や神楽教室の運営、勉強会、他の神楽や関連組織との連携などの活動を福岡都市圏行っております。

九州の歴史は、宮崎高千穂から始まった神話がある一方、海外からの攻撃を受けてきました。

日本の光と闇を経験した地だからこそ、伝統文化・生活様式に込められた想いと重さを知り、未来を開いていく役割が九州にはあると考え、定期的に表先生からご指導頂いております。

光と闇が和合した世界を祈り続け邁進して参ります。

「ネオジャパネスク（温故創新）」と創生神楽

神楽本来の意義を再認識するとともに、未来へとつなぐ日本・世界再生のための思索

「故きを温ねて新しきを創り出す」に基づき生み出されたのが「ネオ・ジャパネスク/温故創新」というコンセプトです。

これをふまえ日本の伝統文化の源である神楽の本流を残し、パフォーマンスや振付けを現代流に創作したのが「創生神楽」です。

沿革

2020年12月発足

2022年3月鳥飼八幡宮遷宮祭にて鈴舞（神楽種放の舞）奉納

東京衆議院会館で行われた神楽議連で活動報告

7月鳥飼八幡宮夏越し祭りにて鈴舞（神楽種放の舞）奉納

2023年6月サンマリノ公国日本祭りにて鈴舞（神楽種放の舞）奉納

2024年3月東京衆議院会館で行われた神楽議連で活動報告

4月バリ・ベトナムにて鈴舞（神楽種放の舞）奉納

6月沖縄戦慰霊の護摩焚と鈴舞（神楽種放の舞）奉納

10月京都泉涌寺にて鈴舞（神楽種放の舞）奉納

11月イタリアフィレンツェ・ドイツブロッケン山にて鈴舞（神楽種放の舞）

奉納

2025年1月鹿児島で初の神楽教室・講演会を開催

定期的に表宗家から学ぶ講演会・神楽教室と自主練習会を開催

会員数約30名

所在地 福岡県太宰府市

代表 山本幸雄